

# 市政クラブ 活動報告

Vol.1 11月号  
発行:市政クラブ



**高野たけし**

無所属 33歳・2期目

逗子市議会議員  
総務常任委員

中央大学大学院修士課程修了



**長島有里**

無所属 27歳・1期目

逗子市議会議員  
教育民生常任委員  
立教大学法学部卒

## 逗子市が透明度 ランキング初の単 独全国1位に

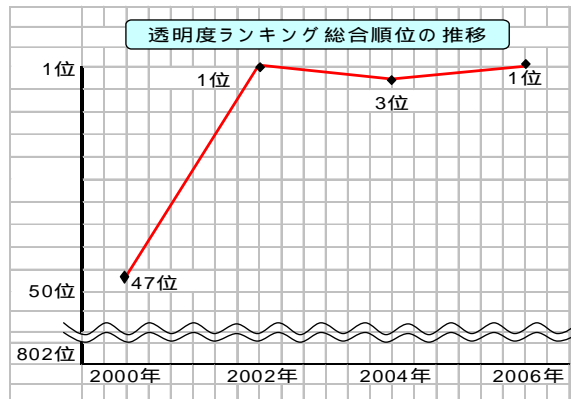
隔年で実施される日本経済新聞社による全国の自治体への調査で、逗子市が透明度ランキングにおいて全国1位となりました。

2000年の47位から、2002年には初の全国1位になりましたが、世田谷区、三鷹市と同率の1位。しかし、今回は他の市を抑えて初の単独1位となりました。

調査項目は、オンブズマン制度を採用しているか、外部から監査委員を登用しているか、入札の予定価格を全面公表しているかなど多岐にわたります。逗子市としては、この間、一旦非公開とした情報でも、原則20年後にはすべて公開するという「時限公開」制度を全国で始めて導入したり、予算形成過程情報を公開するなど、改善に改善を重ねてきており、これからも情報公開日本一の逗子を議員の立場から推進する考えです。

日本経済新聞社  
透明度(30点満点)  
全国802市区を対象

- 1位 逗子市 神奈川 28.5
- 2位 つくば市 茨城 27.0
- 3位 藤沢市 神奈川 26.5
- 4位 富士市 静岡 25.7
- 5位 杉並区 東京 25.0
- 5位 葛飾区 東京 25.0
- 5位 三鷹市 東京 25.0
- 5位 清瀬市 東京 25.0
- 5位 川崎市 神奈川 25.0
- 10位 板橋区 東京 24.5
- 10位 新潟市 新潟 24.5



## 検証 長島市政8年間の財政運営

今回の一般質問の中で、高野たけし議員が長島市政8年間の財政運営について、行政側に質しました。

長島市政の8年間で、市の貯金にあたる「財政調整基金」については、当初の約9億7,000万円から、文化・教育ゾーン建設事業などのために、平成14年には約21億7,000万円まで積み立てられ、一時は約1億8,000万円まで取り崩されました。そして、今回の議会で約4億9,000万円への積み立てが承認されました。

その一方で、市の借金に該当する「起債」については、長島市政当初、約269億2,000万円から、約261億6,000万円(平成17年度末時点)へと約7億6,000万円減っています。そのため、貯金のマイナスと、借金の減少分を差し引きすると、約2億8,000万円の黒字となることとなります。

文化・教育ゾーン、医療保健センター、JR逗子駅のエスカレータなど、大型公共事業が実施されたにもかかわらず、財政が悪化しなかった要因として、行財政改革、入札改革、職員半減化などによる、約7年間の55億5,000万円以上の節減効果が大いだと思います。さらに最新の分析では、長島市政8年間としては、平成18年度末で62億円以上の節減効果になるとしています。

私たちは新市長にも、この状況をベースに、さらに効率的な行政運営を求めていきます。

### 決

#### 算特別委員会報告

決算特別委員会で、会派「市政クラブ」として、主に、外郭団体への補助金の支出について質しました。外部団体への公金の支出について、何にいくらつかつたかを裏付ける領収書の徴収を徹底していないこと。その原因として、個別の事業に補助を出している場合は、市として把握しているものの運営費補助として使途を明確せずに出している場合には、しっかりと把握できていないというところが浮き彫りになりました。外部の団体への補助については、完全に使途を把握できるように、強く指摘すると共に、今後も引き続き市政クラブとして、この点を重要視して決算審査に臨む考えです。

## < 第三回定例会からのご報告 >

### 長島有里の一般質問要旨

#### 職員半減化について

職員半減化とは、行政が指定管理者や民間委託を進めることで、今後20年間で人件費にして16億8000万円、退職金については67億2000万円が不要になるという計画です。

長島「私が6月議会で構想を行政計画として位置付けることについて要望したがどうなったか。また、指定管理者は組織横断的に取り組むべきであると質したが、その後どのような取り組みがされたのか。」

市長「これまで構想だったものをきちんと行政計画にした。また、組織横断的なプロジェクトチームを発足し検証を行っている。

長島「委託化した場合や指定管理者制度を導入した場合のコスト比較の検証をすべきではないか。」

市長「コスト試算のデータについては次の定例会までに具体的な数字を示す。」

#### 景観条例について

屋外広告物は、多様な情報の提供といった役割を担う一方、風景を形成する上で極めて大きな影響をもつ、構成要素のひとつです。

長島「逗子市では、現状、県の屋外広告物条例を準用しているが、その条例では、色彩やデザインに関する規制についてはできない。それでは、こういった規制について、どうすればできるようになるのか。」

市長「現状では、景観条例の趣旨に沿って、市内の看板を出している事業者に企業イメージのアップにつながることを説明し、協力の要請をしている。」

長島「景観条例の改定以外の方策として景観計画の策定、屋外広告物条例の制定があると思うがこの取り組みについてはどうか。」

環境部長「約一年半程度で景観計画を策定、施行していきたいと考えている。」

市長「屋外広告物の条例制定は2年以内に制定されるべきと現段階では思っている。」

#### 高齢者虐待防止サービスについて

最近新聞の報道でも見かけるようになった「高齢者虐待」。親の介護に疲れ、子供が世話を放置してしまう身体的虐待や、暴言を浴びせるなどの心理的虐待など、一口に虐待といっても種類はさまざまです。逗子市は高齢化率が25%を越えていることから、行政が虐待防止のシステムを構築しておくことが急務であると考えます。

長島「逗子市では、高齢者虐待に対して、どのような対策を講じているのか。」

市長「高齢者虐待の専門窓口というものを設けるとともに、横のネットワークを構築すべく連絡会議も早急に立ち上げたい。」

長島「家族同士だと虐待をしているという認識にいたらず、表面化していないケースが多い。そうした予備軍に対するの対応はどう考えているか。」

福祉部長「今後は広報誌などを利用して啓発に努めていきたい。」

逗子市は10月13日より、実際に窓口と虐待110番を立ち上げました。

その他、学童保育の委託内容の充実について、料金を市が直接徴収することについて質問したところ、新年度までには対応ができるよう準備するという回答でした。



### 高野たけしの一般質問要旨

#### 駅前駐輪施設のコーディネート

現在、JR逗子駅東口駅前至近には市営駐輪場が無いことから、駅利用者から設置を望む声や、通行者から違法駐輪により歩道が歩きにくい等の意見が寄せられています。

高野「改札口横のJR所有地に駐輪施設を設置できるようJRと交渉を進めること、さらには駅前道路の一部(みずほ銀行前からマクドナルド前)に駐輪スペースを設置(平成17年の法改正で設置が可能に)し、市民の利便性向上と、通行者の安全性確保に努めるべきではないか」

市長「庁内に協議会を設け、改善に向け取り組んでいく。また、乱雑な駅裏の駐輪場も、民間活力で再整備したい。」

現在も年間2,000台近い撤去自転車がある地域だからこそ、放置自転車撤去事業の間接的な経費削減策とする意味からも、一日も早い改善がなされるよう引き続き改善に向け取り組んでいきたいと思ひます。

#### ゴミ処理方法をめぐるメリット・デメリット

ゴミの効率的な資源化、減量化に向け、本市は今後も単独で自区内処理をしていくのか、鎌倉市との広域処理に移行していくのかの検討段階にあります。

高野「これまでの調査で、施設建設費等のインシヤルコスト、ゴミの焼却費等のランニングコストを合わせると、市単独で行った場合と比較し約43億円のコストメリットがあると出ているが、ゴミの焼却に伴う環境負荷においては明確にされていないため、デメリットに関してもできる限り数値化し、広域処理に係るメリット、デメリットを市民に分かりやすい形で周知し、市民意思を反映した上で市の方向性を決定していくべきではないか。」

市長「広域処理におけるデメリットにおいてもできる限り数値化や情報開示を急いでいる。また、コストメリットの面でも、逗子市が環境負荷を担う場合、鎌倉市に更なる具体的なコスト負担を求めている状況にある。検証過程において明らかになったメリット、デメリットは適宜市民周知を図り、市民意見を踏まえた上で検証作業を進めていくよう務める。」

今回のケースでは、多額の金銭的メリットがある反面、ゴミを焼却した時に生じる環境負荷以外にも、パッカー車(ゴミの回収車)の通行量増加に伴う交通問題など、さらに検証が必要な事項も残されていることから、今後も様々な場面を捉え行政当局に対し情報の開示を求め、慎重かつ適切に判断していきます。

上記以外に、「JR逗子駅南口のゴミ箱問題」、「高齢者の健康増進策」、「逗子市の財政状況」について質問をいたしました。

一般質問の様子は市議会のHPでもご覧いただけます。また、今回取り上げた問題については、今後も引き続き議員の立場でチェックしていきたいと思ひます。

